

1

レッドデータブック作成の目的

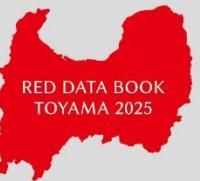


富山県における野生生物を人為的に絶滅させることなく、次世代に継承するためには、絶滅の恐れのある種の状況を的確に把握し、一般の方々への理解を深め適切な保護対策を講ずることが必要である。そのため、県内の希少な動植物の保護活動や普及啓発に役立てることを目的とし、地域の実情を踏まえた「富山県版レッドデータブック」を作成した。

初版：平成 14 年（2002 年）、改訂版：平成 24 年（2012 年）、今回は 2 回目の改訂となる。

2

レッドデータブック作成の経緯



前回（2012）のレッドデータブック作成から 10 年以上が経過していることから、生息環境の変化等に伴う絶滅のおそれのある野生生物の現状を把握するため、レッドデータブックを改訂することとした。

作成にあたっては、令和 5 年（2023 年）より、県内の動植物の専門家からなる「レッドデータブックとやま改訂のための検討委員会」と、その下にワーキンググループを設置して、資料整理、現地調査を行うとともに、選定方法、評価方法、評価結果等について検討を進めた。

【レッドリスト改訂の対象とした分類群】

- 本改訂の対象とする分類群は、基本的に前回改訂時と同じ項目を想定しているが分類群によっては現地調査等を実施し評価する体制を取ることが困難であったため、地衣類、菌類については改訂の対象としなかった。
- 特定植物群落については、更新に向けた調査が進められている段階であるため、今回のレッドデータブックには掲載しなかった。

○動物

- ・哺乳類
- ・鳥類
- ・爬虫類・両生類
- ・淡水魚類
- ・昆虫類
- ・軟体動物（淡水産・陸産貝類）
- ・甲殻類

○植物

- ・維管束植物
- ・蘚苔類
- ・地衣類 ※今回は改訂対象にせず
- ・菌類 ※今回は改訂対象にせず

○特定植物群落

※今回は改訂対象にせず

【レッドリスト改訂の流れ】

令和5年度 令和5年9月	第1回検討委員会 ・改訂作業の進め方やスケジュールについて ↓ 現地調査、文献等資料調査
令和6年2月	第2回検討委員会 ・作業進捗確認、レッドデータブックの内容検討 ↓ 現地調査、文献等資料調査
令和6年度	レッドリスト種の選定 ↓
令和6年9月	第3回検討委員会 ・作業進捗確認、レッドリスト案について ・レッドデータブックの原稿内容について ↓ レッドリスト種の概要整理 原稿、写真等の整理 ↓
令和6年11月	第4回検討委員会 ・作業進捗確認、レッドリスト案について ・レッドデータブックの原稿内容について ↓
令和7年2月	パブリックコメントの実施 レッドリスト周知イベントの開催 ↓
令和7年3月	第5回検討委員会 ・レッドリストの確定
令和7年度	レッドデータブックの編集作成 ↓
令和7年12月	レッドデータブックの公開



第2回検討委員会の様子



レッドリスト周知イベントの様子

3 カテゴリー（選定基準）



今回のレッドリストの改訂にあたっては、絶滅のおそれのある野生生物の全国的な選定基準となる環境省のカテゴリー区分をほぼ準用したカテゴリーとし、県レベルで地域の実情に応じた種や個体群を選定した。なお、環境省カテゴリーの定量要件については、データの蓄積が十分でないと判断し、採用しなかった。同じく絶滅危惧 I A と I B 類の区分も行わなかった。なお、一部の分類群については、個別の判断基準を設けて選定を行った。

また、評価の基準年は 2024 年とし、絶滅の判断にあたっての最後の記録年は 1974 年、絶滅危惧 I 類の情報量が少い種として最後の記録は 1974～1994 年を目安とする。近年の記録の目安としては、前回リスト公表後の 2012 年以降の記録とした。

表 富山県版カテゴリー（選定基準）

○絶滅+野生絶滅 (EX+EW) (環境省カテゴリー相当 → 絶滅+野生絶滅)
県内において野生ではすでに絶滅したと考えられる種。 かつては県内に生息・生育したことが確認されているが、現在は絶滅したと考えられる、または、飼育・栽培下でのみ存続しているが、県内においてすでに野生では絶滅したと考えられる以下のような種。 <確実な情報があるもの> <ul style="list-style-type: none">・信頼できる調査や記録により、すでに絶滅したことが確認されている。・信頼できる複数の調査によっても、生息・生育が確認できなかった。 <情報量が少ないもの> <ul style="list-style-type: none">・過去 50 年間前後の間に、信頼できる生息・生育の情報が得られていない。
○絶滅危惧 I 類 (CR+EN) (環境省カテゴリー相当 → 絶滅危惧 I A 類 + I B 類) 絶滅の危機に瀕している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難であり、ただちに厳重な保護対策を要する以下のような種。 <確実な情報があるもの> <ul style="list-style-type: none">・既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。・既知のすべての生息・生育地で、生息・生育条件が著しく悪化している。・既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。・ほとんどの分布域に交雑のある別種が侵入している。 <情報量が少ないもの> <ul style="list-style-type: none">・それほど遠くない過去 (30 年～50 年) の生息・生育記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。
○絶滅危惧 II 類 (VU) (環境省カテゴリー相当 → 絶滅危惧 II 類) 絶滅の危険が増大している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」に移行することが確実視され、厳重な保護対策を要する以下のような種。 <確実な情報があるもの> <ul style="list-style-type: none">・大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。・大部分の生息・生育地で生息・生育条件が明らかに悪化しつつある。・大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。・分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。

○準絶滅危惧（NT）（環境省カテゴリー相当 → 準絶滅危惧）

存続基盤が脆弱な種。

現時点での絶滅の危険性は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧II類」以上の上位ランクに移行する要素を有するもの。生息・生育状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっており、分布域の一部において次のいずれかの傾向が顕著で、今後さらに進行するおそれがあるため、保護上注意を要する種。

- ・個体数が減少している。
- ・生息・生育条件が悪化している。
- ・過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。
- ・交雑可能な別種が侵入している。

○情報不足（DD）（環境省カテゴリー相当 → 情報不足）

絶滅にいたる可能性があるが、情報が不足しており、今後生息・生育状況に注意すべき種。

環境条件の変化によって、容易に上位のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息・生育状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない以下のような種。

- ・どの生息・生育地においても生息・生育密度が低く希少である。
- ・生息・生育地が県内において局限されている。
- ・生物地理上、地域的に孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。
- ・生物地理上の分布境界域に生息・生育している。
- ・生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。

○絶滅のおそれのある地域個体群（LP）

（環境省カテゴリー相当 → 絶滅のおそれのある地域個体群）

地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い以下のようないわゆる「絶滅のおそれのある地域個体群」。

- ・生息・生育状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブックの掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息・生育域が孤立しており、地域レベルで見た場合、絶滅の危険性が高いと判断されるもの。
- ・地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅の危険性が高いと判断されるもの。

4 レッドリストの選定結果



富山県に生息・生育する野生動植物を対象とし、動物は、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、淡水魚類、昆虫類、軟体動物（淡水産・陸産貝類）、甲殻類について選定した。また、植物は、維管束植物、蘚苔類を対象とした。なお、前回のリストにある地衣類、菌類については作業の体制が整わなかったため、改訂の対象から除いた。

分類群ごとの選定種数を次ページの表に示す。また、選定種の一覧、分類群ごとの概要説明文については、別に示す。

選定の結果、今回の改訂により、全体の種数は1,052種となり、前回（2012）の854種から198種の増加となっている（地衣類、菌類は集計から除く）。

動物については、194種（哺乳類1種・鳥類10種・両生類1種・昆虫類148種・軟体動物（淡水貝類）2種・軟体動物（陸産貝類）16種・甲殻類16種）が増加した。一方、淡水魚類は、2種減少した。

植物では6種（維管束1種・蘚苔類5種）が増加した。

【レッドリスト2025 全体種数】 ※地域個体群を種数に含める

- 動物：574種 植物：478種 合計：1,052種

【レッドリスト2012（改訂1回目） 全体種数（参考）】 ※地域個体群を種数に含める

- 動物：382種 植物：472種（地衣類、菌類除く） 合計：854種

【レッドリスト2002（策定当初） 全体種数（参考）】 ※地域個体群を種数に含める

- 動物：275種（甲殻類を除く） 植物：376種（蘚苔類、地衣類、菌類除く） 合計：651種

表 分類群別レッドリスト種数の前回・前々回との比較（1/3）

カテゴリー	哺乳類			鳥類			爬虫類・両生類			淡水魚類		
	2002	2012	2025	2002	2012	2025	2002	2012	2025	2002	2012	2025
絶滅+野生絶滅	EX/EW	2	2	3	1	1	1			1	2	2
絶滅危惧Ⅰ類	CR/EN			1	5	18	16	1	2	4	3	7
絶滅危惧Ⅱ類	VU	3	3	4	14	14	21	1	3	1	8	7
準絶滅危惧	NT	9	10	6	35	28	25	4	5	6	7	12
情報不足	DD	3	2	4	13	15	23	3	1	1	7	5
地域個体群	LP									1	3	1
合計		17	17	18	68	76	86	9	11	12	27	32
												30

表 分類群別レッドリスト種数の前回・前々回との比較（2/3）

カテゴリー	昆蟲類			軟體動物（淡水貝類）			軟體動物（陸産貝類）			甲殻類	
	2002	2012	2025	2002	2012	2025	2002	2012	2025	2012	2025
絶滅+野生絶滅	EX/EW			6	4	5	5				
絶滅危惧Ⅰ類	CR/EN	21	35	58	4	3	3	1	2	2	2
絶滅危惧Ⅱ類	VU	23	28	75	3	5	4	1	1	3	1
準絶滅危惧	NT	78	71	126	3	2	5	4	7	9	3
情報不足	DD	4	72	88	3	6	6	5	7	19	2
地域個体群	LP			1							
合計		126	206	354	17	21	23	11	17	33	2
											18

表 分類群別レッドリスト種数の前回・前々回との比較（3/3）

カテゴリー	維管束植物			蘚苔類	
	2002	2012	2025	2012	2025
絶滅+野生絶滅	EX/EW	18	30	34	2
絶滅危惧Ⅰ類	CR/EN	90	75	109	5
絶滅危惧Ⅱ類	VU	94	118	133	7
準絶滅危惧	NT	115	132	151	6
情報不足	DD	59	84	13	15
地域個体群	LP				
合計		376	439	440	33
					38

■哺乳類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅+野生絶滅 (EX+EW)	食肉目	イヌ科	オオカミ	-
002			アシカ科	ニホンアシカ	新規
003			イタチ科	ニホンカワウソ	-
004	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	齧歯目	ネズミ科	カヤネズミ	(NT) ↑
005	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	真無盲腸目	トガリネズミ科	カワネズミ	-
006		翼手目	ヒナコウモリ科	テングコウモリ	新規
007				コテングコウモリ	(NT) ↑
008				ノレンコウモリ	(NT) ↑
009	準絶滅危惧 (NT)	齧歯目	リス科	ニホンモモンガ	-
010			ヤマネ科	ニホンヤマネ	-
011		真無盲腸目	モグラ科	ミズラモグラ	-
012		翼手目	ヒナコウモリ科	カグヤコウモリ	-
013				ヒメホオヒゲコウモリ	-
014		食肉目	イタチ科	オコジョ	-
015	情報不足 (DD)	真無盲腸目	トガリネズミ科	アズミトガリネズミ	(VU) ↓
016		翼手目	ヒナコウモリ科	クビワコウモリ	(VU) ↓
017				ヤマコウモリ	(NT) ↓
018				モリアブラコウモリ	-

■鳥類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅+野生絶滅 (EX+EW)	ペリカン目	トキ科	トキ	-
002	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	カモ目	カモ科	コクガン	(VU) ↑
003		キジ目	キジ科	ライチョウ	-
004		ツル目	クイナ科	ヒクイナ	-
005		チドリ目	タマシギ科	タマシギ	-
006		ペリカン目	カモメ科	コアジサシ	-
007			サギ科	サンカノゴイ	-
008				ヨシゴイ	-
009				ミゾゴイ	-
010				クロサギ	-
011		タカ目	タカ科	イヌワシ	-
012				チュウヒ	-
013		ブッポウソウ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	-
014		ハヤブサ目	ハヤブサ科	チゴハヤブサ	-
015		スズメ目	モズ科	チゴモズ	-
016				アカモズ	-
017				セッカ	-
018	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	カモ目	カモ科	ヒシトイ	-
019				マガソ	-
020				トモエガモ	-
021		ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	-
022		ペリカン目	サギ科	ササゴイ	(NT) ↑
023		タカ目	タカ科	ハチクマ	-
024				クマタカ	(CR+EN) ↓

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
025	絶滅危惧 II 類 (VU)	タカ目	タカ科	ツミ	(NT) ↑
026				ハイタカ	(NT) ↑
027				オオタカ	-
028				オオワシ	-
029				オジロワシ	-
030				サシバ	(CR+EN) ↓
031		フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	-
032				コノハズク	新規
033				オオコノハズク	(NT) ↑
034				トラフズク	新規
035				コミニズク	新規
036		ツッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	-
037		ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	-
038		スズメ目	ホオジロ科	ノジコ	(NT) ↑
039	準絶滅危惧 (NT)	カモ目	カモ科	オオハクチョウ	-
040				ヨシガモ	-
041				シノリガモ	-
042				ビロードキンクロ	-
043				クロガモ	新規
044				ホオジロガモ	-
045				ミコアイサ	-
046				ウミアイサ	-
047		カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	新規
048				カッコウ	新規
049		ツル目	クイナ科	バン	新規
050		チドリ目	チドリ科	ケリ	-
051				イカルチドリ	-
052				コチドリ	-
053				シロチドリ	-
054			シギ科	ヤマシギ	新規
055				アオシギ	新規
056				イソシギ	-
057		タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	-
058			タカ科	ハイイロチュウヒ	新規
059		フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	新規
060		ツッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン	-
061		スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	-
062			ヨシキリ科	コヨシキリ	新規
063			ホオジロ科	ホオアカ	-
064	情報不足 (DD)	カモ目	カモ科	オシドリ	新規
065		キジ目	キジ科	ウズラ	-
066		ツル目	クイナ科	クイナ	(VU) ↓
067		チドリ目	セイタカシギ科	セイタカシギ	(NT) ↓
068			シギ科	ホウロクシギ	新規
069				オオソリハシシギ	新規
070				オオジシギ	-
071				タカブシギ	新規
072				ツルシギ	新規

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
073	情報不足 (DD)	チドリ目	カモメ科	ズグロカモメ	(VU) ↓
074				アジサシ	-
075			ウミスズメ科	ウミガラス	-
076				マダラウミスズメ	-
077				ウミスズメ	-
078				カンムリウミスズメ	-
079			ペリカン目	ヘラサギ	新規
080				クロツラヘラサギ	(CR+EN) ↓
081			キツツキ目	キツツキ科	オオアカゲラ
082			スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ
083				ツリスガラ科	ツリスガラ
084				ツバメ科	コシアカツバメ
085				キバシリ科	キバシリ
086				ホオジロ科	コジュリン

■爬虫類・両生類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	(VU) ↑
002		有尾目	サンショウウオ科	ハクバサンショウウオ	-
003				ホクリクサンショウウオ	-
004		無尾目	ヒキガエル科	ナガレヒキガエル	(VU) ↑
005	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	無尾目	アカガエル科	ナガレタゴガエル	-
006	準絶滅危惧 (NT)	有鱗目	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	-
007			ナミヘビ科	シロマダラ	-
008		有尾目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	-
009			イモリ科	アカハライモリ	-
010		無尾目	アカガエル科	ニホンアカガエル	新規
011				トノサマガエル	-
012	情報不足 (DD)	カメ目	スッポン科	ニホンスッポン	-

■淡水魚類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅 + 野生絶滅 (EX+EW)	コイ目	ドジョウ科	ホトケドジョウ	-
002		トゲウオ目	トゲウオ科	ニホントヨ	-
003		ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	カワヤツメ	-
004				キタスナヤツメ	-
005		コイ目	コイ科	ヤリタナゴ	-
006				ミナミアカヒレタビラ	-
007				イタセンパラ	-
008		ナマズ目	アカザ科	アカザ	-
009		スズキ目	ハゼ科	クロヨシノボリ	-
010	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	トゲウオ目	トゲウオ科	トヨ属淡水型	-
011		スズキ目	カジカ科	カジカ中卵型	-
012				カンキョウカジカ	-
013			ハゼ科	シンジコハゼ	-

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
014	絶滅危惧 II 類 (VU)	スズキ目	ハゼ科	ジュズカケハゼ	-
015				ルリヨシノボリ	-
016				シロウオ	(NT) ↑
017	準絶滅危惧 (NT)	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	ミナミスナヤツメ	-
018		コイ目	コイ科	ジュウサンウグイ	(DD) ↑
019			ドジョウ科	ドジョウ	-
020				アジメドジョウ	(LP) ↑
021		ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	(VU) ↓
022		サケ目	サケ科	サクラマス (ヤマメ)	-
023		ダツ目	メダカ科	キタノメダカ	-
024		スズキ目	カジカ科	カジカ大卵型	-
025				アユカケ (カマキリ)	-
026				ドンコ科	-
027		ハゼ科		ビリング	(DD) ↑
028				カワヨシノボリ	(LP) ↑
029	情報不足 (DD)	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	-
030	地域個体群 (LP)	サケ目	サケ科	ニッコウイワナ	-

■昆虫類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅 + 野生絶滅 (EX+EW)	カメムシ目 (水生半翅類)	コオイムシ科	タガメ	(CR+EN) ↑
002			コバンムシ科	コバンムシ	(CR+EN) ↑
003		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	(CR+EN) ↑
004				マルガタゲンゴロウ	(CR+EN) ↑
005				シマゲンゴロウ	(CR+EN) ↑
006				オサムシ科	カワラハンミョウ 新規
007	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	トンボ目	アオイトンボ科	オツネントンボ	-
008			イトトンボ科	オゼイトトンボ	新規
009			ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	-
010				カトリヤンマ	-
011				マダラヤンマ	(VU) ↑
012			サナエトンボ科	アオサナエ	-
013				モイワサナエ本州中部亜種 (ヒラサナエ)	-
014				ヒメサナエ	-
015				ホンサナエ	-
016				キイロサナエ	-
017		エゾトンボ科	ハネビロエゾトンボ	-	
018			トンボ科	タイリクアカネ	-
019	バッタ目	ヒバリモドキ科	ハマスズ	-	
020			マツムシ科	カヤコオロギ	-
021			バッタ科	ヤマトマダラバッタ (ヤマトバッタ)	-
022		カメムシ目 (水生半翅類)	コオイムシ科	コオイムシ	-
023			ミズムシ科	ホッケミズムシ	(NT) ↑
024				ミヤケミズムシ	新規
025			アメンボ科	ババアメンボ	(VU) ↑
026				エサキアメンボ	新規
027		アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	オオウスバカゲロウ	(DD) ↑

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
028	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	アミメカゲロウ目	ツノトンボ科	キバネツノトンボ	-
029		コウチュウ目	ミズスマシ科	オオミズスマシ	新規
030				ヒメミズスマシ	新規
031			ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ	-
032				シャープゲンゴロウモドキ	-
033				マルチビゲンゴロウ	新規
034				マルガタシマチビゲンゴロウ	(NT) ↑
035				コマルケシゲンゴロウ	新規
036				サメハダマルケシゲンゴロウ	新規
037				ケシゲンゴロウ	新規
038				ルイスツブゲンゴロウ	(NT) ↑
039			オサムシ科	ホソハンミョウ	新規
040				ナミハンミョウ	(DD) ↑
041				オオサカアオゴミムシ	新規
042				オオヨツボシゴミムシ	新規
043			タマムシ科	クロマダラタマムシ	(VU) ↑
044				トオヤマシラホシナガタマムシ	-
045				ツヤナガタマムシ	-
046			ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ	新規
047			ガムシ科	マメガムシ	新規
048			コガネムシ科	ヒメチケマグソコガネ	新規
049				マルエンマコガネ	新規
050			ゴミムシダマシ科	ニセマグソコガネダマシ	新規
051			カミキリムシ科	フタスジカタピロハナカミキリ	(VU) ↑
052				シコクヒメコブハナカミキリ	新規
053				ヒゲシロホソコバネカミキリ	-
054				ヨツボシカミキリ	(DD) ↑
055			ハムシ科	ヒラタネクイハムシ	新規
056				スジグロオオハムシ	-
057				トヤマオオミズクサハムシ	-
058		ハチ目	アナバチ科	キゴシジガバチ	新規
059		チョウ目(チョウ類)	シロチョウ科	クモマツマキチョウ北アルプス・戸隠亜種	(VU) ↑
060			シジミチョウ科	クロシジミ	-
061				ミヤマシジミ	(VU) ↑
062			タテハチョウ科	コヒョウモンモドキ	-
063		チョウ目(ガ類)	ヒトリガ科	マエアカヒトリ	新規
064			ヤガ科	アオモンギンセダカモクメ	新規
065	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	トンボ目	イトトンボ科	ムスジイトトンボ	(CR+EN) ↓
066				モートンイトトンボ	-
067			ヤンマ科	アオヤンマ	(NT) ↑
068			サンエトンボ科	オジロサンエ	(CR+EN) ↓
069			エゾトンボ科	カラカネトンボ	-
070		カマキリ目	トンボ科	ムツアカネ	(DD) ↑
071				マイコアカネ	-
072			カマキリ科	ウスバカマキリ	(DD) ↑
073				ヒナカマキリ	-
074		バッタ目	バッタ科	カワラバッタ	-
075				セグロイナゴ	(CR+EN) ↓

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動	
076	絶滅危惧 II 類 (VU)	カメムシ目 (水生半翅類)	タイコウチ科	タイコウチ	新規	
077			ミズカマキリ科	ヒメミズカマキリ	(NT) ↑	
078			ナベブタムシ科	ナベブタムシ	-	
079			マルミズムシ科	ヒメマルミズムシ	新規	
080				マルミズムシ	新規	
081			アメンボ科	ハネナシアメンボ	-	
082		カメムシ目 (陸生半翅類)	サシガメ科	ゴミアシナガサシガメ	新規	
083			コウチュウ目	クロホシコガシラミズムシ	新規	
084				ヒメコガシラミズムシ	新規	
085			ミズスマシ科	ミズスマシ	新規	
086				コオナガミズスマシ	(NT) ↑	
087			ゲンゴロウ科	キベリクロヒメゲンゴロウ	新規	
088	オサムシ科			メススジゲンゴロウ	-	
089				キボシケシゲンゴロウ	-	
090				アイヌハンミョウ	-	
091				セアカオサムシ	-	
092				オオオサムシ	(DD) ↑	
093				ヤコンオサムシ	(DD) ↑	
094				カワラゴミムシ	新規	
095				ヒツツメアオゴミムシ	新規	
096			タマムシ科	クロコモンタマムシ	新規	
097			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	新規	
098				ケスジゾドロムシ	新規	
099			ホタル科	ヒメボタル	-	
100	ガムシ科		ガムシ科	ガムシ	新規	
101				アサヒナコマルガムシ	新規	
102				マルヒラタガムシ	新規	
103			クワガタムシ科	マグソクワガタ	新規	
104				ヒメオオクワガタ基亜種	-	
105				ヒラタクワガタ本土亜種	(DD) ↑	
106			コガネムシ科	オオマグソコガネ	新規	
107				コマグソコガネ	新規	
108				オオスジマグソコガネ	新規	
109				ヨツボシマグソコガネ	新規	
110	ダルマガムシ科			ミヤマダイコクコガネ	新規	
111				カドマルエンマコガネ	新規	
112			シデムシ科	コセスジダルマガムシ	新規	
113				ヤマトモンシデムシ	新規	
114				オニヒラタシデムシ	新規	
115			カミキリムシ科	ニセノコギリカミキリ	新規	
116				ケブカヒラタカミキリ	新規	
117				キベリカタビロハナカミキリ	新規	
118				クビアカハナカミキリ	新規	
119				クロホソコバネカミキリ本州亜種	新規	
120	アカジマトラカミキリ			コトラカミキリ	-	
121				アカジマトラカミキリ	-	
122				ナカバヤシモモトカミキリ	新規	

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
123	絶滅危惧 II 類 (VU)	コウチュウ目	ハムシ科	ネクイハムシ	(DD) ↑
124		ハチ目	アナバチ科	フジジガバチ	(NT) ↑
125			ハナダカバチ科	ニッポンハナダカバチ	(DD) ↑
126				キアシハナダカバチモドキ	(DD) ↑
127		ギングチバチ科		ニトベギングチ (バチ)	(NT) ↑
128				アカオビケラトリバチ	新規
129		チョウ目 (チョウ類)	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	(NT) ↑
130			シロチョウ科	ミヤマモンキチョウ北アルプス亜種	-
131			シジミチョウ科	ゴマシジミ中部高地帯亜種	-
132				オオゴマシジミ	-
133				アサマシジミ本州高地亜種	(NT) ↑
134		タテハチョウ科		タカネヒカゲ飛騨山脈亜種	-
135				オオヒカゲ	(DD) ↑
136		チョウ目 (ガ類)	シャクガ科	ハスオビカバエダシャク	(NT) ↑
137			スズメガ科	オオシモフリスズメ	-
138			ヤガ科	フシキキシタバ	(NT) ↑
139				ホッキョクモンヤガ	(NT) ↑
140	準絶滅危惧 (NT)	トンボ目	カワトンボ科	ニホンカワトンボ	-
141			イトトンボ科	セスジイトンボ	新規
142			ムカシトンボ科	ムカシトンボ	-
143			ヤンマ科	マルタンヤンマ	新規
144			サナエトンボ科	オナガサンエ	(CR+EN) ↓
145				ミヤマサンエ	-
146			エゾトンボ科	トラフトンボ	-
147			トンボ科	チヨウトンボ	-
148				ミヤマアカネ	-
149				キトンボ	-
150				ハッショウトンボ	-
151		ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	(DD) ↑
152		ハサミムシ目	クギヌキハサミムシ科	エゾハサミムシ	新規
153			クロハサミムシ科	クロハサミムシ	新規
154	バッタ目	キリギリス科		ササキリ	-
155		クツワムシ科		クツワムシ	(VU) ↓
156		コオロギ科		カワラエンマコオロギ (エゾエンマコオロギ)	(DD) ↑
157		ヒバリモドキ科		カワラスズ	-
158		マツムシ科		ヒロバネカンタン	新規
159		バッタ科		ショウリヨウバッタモドキ	(DD) ↑
160		カメムシ目	コオイムシ科	オオコオイムシ	-
161	(水生半翅類)	ミズカムシ科		ムモンミズカムシ	新規
162		アメンボ科		オオアメンボ	-
163		カムムシ目	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ	-
164	(陸生半翅類)	コガシラウンカ科		イブキコガシラウンカ	-
165		テングスケバ科		クロテングスケバ	-
166		セミ科		アカエゾゼミ	-
167				ハルゼミ	新規
168		トゲアワフキ科		タケウチトゲアワフキ	-
169		アワフキムシ科		タカイホソアワフキ	新規
170		ヨコバイ科		オオイナズマヨコバイ	新規

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
171	準絶滅危惧 (NT)	カメムシ目 (陸生半翅類)	ヨコバイ科	スナヨコバイ	新規
172			ハナカメムシ科	ズイムシハナカメムシ	新規
173			サシガメ科	キロサシガメ	新規
174			クヌギカメムシ科	ヨツモンカメムシ	-
175			ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ	新規
176			キンカメムシ科	チャイロカメムシ	新規
177			カメムシ科	ナカボシカメムシ	-
178			ツノカメムシ科	トゲツノカメムシ	新規
179		コウチュウ目	ミズスマシ科	オナガミズスマシ	新規
180			ゲンゴロウ科	クロマメゲンゴロウ	-
181				ヒメシマチビゲンゴロウ	新規
182				カノシマチビゲンゴロウ	新規
183				ニセコウベツブゲンゴロウ	新規
184			オサムシ科	コクロナガオサムシ	(DD) ↑
185				クロオサムシ	(DD) ↑
186				ホソヒメクロオサムシ	(DD) ↑
187				ヒヨウタンゴミムシ	(DD) ↑
188				オサムシモドキ	新規
189				オオトックリゴミムシ	新規
190		タマムシ科	アオマダラタマムシ	-	
191			ミヤマナカボソタマムシ		新規
192			ニッポンカタスジナガタマムシ		新規
193			シナノキチビタマムシ		(DD) ↑
194			コメツキムシ科	シバタニセヒラタコメツキ	(DD) ↑
195		ガムシ科	ガムシ科	スジヒラタガムシ	新規
196			コブスジコガネ科	ヘルトゲコブスジコガネ	新規
197			クワガタムシ科	マダラクワガタ基亜種	新規
198				ツヤハダクワガタ中部近畿亜種	-
199				オニクワガタ基亜種	(DD) ↑
200		コガネムシ科	コガネムシ科	ウスイロマグソコガネ	新規
201				クロカナブン	新規
202				アカマダラハナムグリ	(VU) ↓
203				オオチャイロハナムグリ	-
204				ジュウシチホシハナムグリ	新規
205				ヤマトアオドウガネ	新規
206			アカマダラセンチコガネ科	アカマダラセンチコガネ基亜種	-
207			ダルマガムシ科	セスジダルマガムシ	新規
208			シデムシ科	ヒメヒラタシデムシ	新規
209			ツチハンミョウ科	マルクビツチハンミョウ	新規
210		ゴミムシダマシ科	ゴミムシダマシ科	ハネナシセスジナガキマワリ	(DD) ↑
211				シワナガキマワリ	新規
212			ゾウムシ科	スナムグリヒヨウタンゾウムシ	新規
213			カミキリムシ科	トドマツカミキリ	新規
214				ヒラヤマコブハナカミキリ	-
215				アラメハナカミキリ	新規
216				ミヤマヒメハナカミキリ	新規
217				ヒゲブトハナカミキリ	-
218				ムナミゾハナカミキリ	新規

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
219	準絶滅危惧 (NT)	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヤマトキモンハナカミキリ	新規
220				ベニバハナカミキリ	新規
221				コウヤホソハナカミキリ	新規
222				キイロミヤマカミキリ	-
223				シラホシヒゲナガコバネカミキリ北海道亜種	新規
224				クロツヤヒゲナガコバネカミキリ	新規
225				トラフカミキリ本土亜種	新規
226				フトオビミドリトラカミキリ	新規
227				ヒゲナガカミキリ	新規
228				ホシベニカミキリ	新規
229				ヒゲナガモモブトカミキリ	新規
230				ヒゲナガヒメルリカミキリ	-
231			ハムシ科	イネネクイハムシ	(DD) ↑
232				キンイロネクイハムシ	(DD) ↑
233	ハチ目	コマユバチ科	コマユバチ科	ウマノオバチ	(DD) ↑
234			アリ科	ツヤクシケアリ	新規
235			ドロバチ科	フカイオオドロバチ	-
236			スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ	新規
237			ハナダカバチ科	ヤマトスナハキバチ	新規
238			ムカシハナバチ科	エサキムカシハナバチ	(DD) ↑
239			ヒメハナバチ科	ヤスマツヒメハナバチ	新規
240			ハキリバチ科	クズハキリバチ	新規
241			ミツバチ科	ウスリーマルハナバチ	新規
242	ハエ目	アブ科	アブ科	クロキンメアブ	新規
243				ヨスジキンメアブ	(DD) ↑
244		ニクバエ科	ニクバエ科	ハマベニクバエ	新規
245	チョウ目 (チョウ類)	セセリチョウ科	セセリチョウ科	タカネキマラセセリ飛騨山脈亜種	-
246				スジグロチャバネセセリ名義タイプ亜種	-
247				ヘリグロチャバネセセリ	-
248		シジミチョウ科	シジミチョウ科	カラシシジミ	-
249				ミヤマカラスシジミ	-
250		タテハチョウ科	タテハチョウ科	オオイチモンジ	-
251				コムラサキ黒色型 (クロコムラサキ)	-
252				オオムラサキ	-
253				オオギンスジコウモリ	-
254	チョウ目 (ガ類)	コウモリガ科	コウモリガ科	ルリハダホソクロバ	新規
255		マダラガ科	マダラガ科	フジキオビ	新規
256		アゲハモドキガ科	アゲハモドキガ科	オナガミズアオ	新規
257		ヤママユガ科	ヤママユガ科	スキバホウジャク	新規
258		スズメガ科	スズメガ科	キハダカノコ	新規
259		ヒトリガ科	ヒトリガ科	オレクギリンガ	新規
260		ヤガ科	ヤガ科	キシタツバ	新規
261				カギモンハナオイツバ	新規
262				ミヤマキシタバ	新規
263				ナマリキシタバ	-
264				コシロシタバ	新規
265				キスジウスキヨトウ	新規

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
266	情報不足（DD）	カワゲラ目	トワタカワゲラ科	ミネトワタカワゲラ	-
267		カマキリ目	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ	-
268		ナナフシ目	トビナナフシ科	ニホントビナナフシ	新規
269		ハサミムシ目	クギヌキハサミムシ科	クギヌキハサミムシ	新規
270		バッタ目	キリギリス科	ヒサゴクサカリ	-
271			コオロギ科	クマコオロギ	-
272				クマズズムシ	-
273			ヒバリモドキ科	ヒメスズ	-
274		カメムシ目 (水生半翅類)	ミズムシ科	ミソナシミズムシ	新規
275			イトアメンボ科	イトアメンボ	(CR+EN) ↓
276		カメムシ目 (陸生半翅類)	ツチカメムシ科	ヨコヅナツチカメムシ	(NT) ↓
277			カメムシ科	アオクチブトカメムシ	(NT) ↓
278			ツノカメムシ科	オオツノカメムシ	(NT) ↓
279		ヘビトンボ目	センブリ科	フタオセンブリ	-
280		ラクダムシ目	キスジラクダムシ科	キスジラクダムシ	-
281		アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	コカスリウスバカゲロウ	-
282			クシヒゲカゲロウ科	クシヒゲカゲロウ	-
283		コウチュウ目	ミズスマシ科	コミズスマシ	新規
284				ミヤマミズスマシ	新規
285			ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	新規
286			オサムシ科	クチキゴミムシ	新規
287				ヒゲナガホラヒタゴミムシ	新規
288				ウエダオオズナガゴミムシ	新規
289			タマムシ科	クロヒメヒラタタマムシ本州中部亜種	新規
290				ホソクロナガタタマムシ	新規
291				クロケシタタマムシ	新規
292				ホソツツタタマムシ	新規
293		ホタル科	ハイケボタル	-	
294			ゲンジボタル	-	
295		ガムシ科	ホソゴマフガムシ	新規	
296		コガネムシ科	クチキマグソコガネ	新規	
297			ヒメカンショコガネ	新規	
298		ダルマガムシ科	オワラダルマガムシ	新規	
299		ナガクチキムシ科	ボウズナガクチキ	新規	
300		ゴミムシダマシ科	クロゴミムシダマシ	新規	
301			キイロクチキムシ	新規	
302		テントウムシ科	クロジュウニホシテントウ	-	
303		カミキリムシ科	カクムネヒメハナカミキリ	新規	
304			ケブトハナカミキリ	新規	
305			シララカハナカミキリ	新規	
306			スネケブカヒロコバネカミキリ	新規	
307			ムモンベニカミキリ	新規	
308			イボタサビカミキリ	-	
309			ニセヤツボシカミキリ	新規	
310		ハムシ科	オオルリハムシ	新規	
311			オオサルハムシ	新規	
312		シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	ババツマグロシリシアゲ	-
313				ホシシリシアゲ	-

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
314	情報不足 (DD)	ハチ目	アリ科	ツノアカヤマアリ	新規
315				タカネクロヤマアリ	新規
316				アナバチ科	-
317				ムカシハナバチ科	新規
318				ハキリバチ科	新規
319		ハエ目	ニセヒメガガンボ科	エサキニセヒメガガンボ	-
320				オオモリハマダラカ	-
321				ハクサンヤブカ	-
322				シナハマダラカ	-
323				トワダオオカ	-
324			ミズアブ科	エセチヨウセンヤブカ	-
325				コガタノミズアブ	-
326				ミズアブ	-
327				ハラビロミズアブ	-
328			アブ科	トヤマゴマアブ	-
329				オオツルアブ	-
330		ツリアブ科	ムシヒキアブ科	クロバネツリアブ	-
331				トラフムシヒキ	-
332				オオイシアブ	-
333	トビケラ目 (チョウ類)	ヒゲナガトビケラ科	セセリチョウ科	ギンボシツツトビケラ	新規
334		タテハチョウ科		キバネセセリ	新規
335		アゲハチョウ科	ホソバセセリ	新規	
336			ギフチョウ	-	
337		シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ	新規	
338			ムモンアカシジミ	新規	
339			ヒサマツミドリシジミ	-	
340		タテハチョウ科	ギンボシヒヨウモン本州亜種	新規	
341			フタスジヒヨウ中部亜種	-	
342			エルタテハ	-	
343			クモマベニヒカゲ本州亜種	新規	
344	チョウ目 (ガ類)	ボクトウガ科	ヤガ科	ハイロボクトウ	新規
345				クワトゲエダシャク	新規
346		シャチホコガ科	ヤガ科	ゴマダラシャチホコ	(NT) ↓
347				シロホソバ	新規
348		ヒトリガ科	ヤガ科	ヌマベウスキヨトウ	新規
349				キュウシュウマエアカシロヨトウ	(NT) ↓
350			ヒトリガ科	エチゴハガタヨトウ	新規
351				ギンモンアカヨトウ	新規
352			ヤガ科	アヤモクメキリガ	新規
353				ウスミミモンキリガ	新規
354	地域個体群 (LP)	コウチュウ目	センチコガネ科	オオセンチコガネ基亜種	新規

■軟体動物 (淡水産貝類・陸産貝類)

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
淡 001	絶滅 + 野生絶滅 (EX+EW)	エゾタマキビ目	エゾマメタニシ科	マメタニシ	-
淡 002			ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ	-
淡 003		モノアラガイ目	モノアラガイ科	イグチモノアラガイ	-

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
淡 004	絶滅+野生絶滅 (EX+EW)	イシガイ目	イシガイ科	オバエボシガイ	-
淡 005				カタハガイ	-
淡 006	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	イシガイ目	イシガイ科	マツカサガイ（広域分布種）	-
淡 007				イシガイ	-
淡 008				ヨコハマシジラガイ	-
淡 009	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	タニシ目	タニシ科	マルタニシ	-
淡 010		モノアラガイ目	モノアラガイ科	モノアラガイ	-
淡 011		イシガイ目	イシガイ科	キタノタガイ（新称）	-
淡 012				ヌマガイ	-
淡 013	準絶滅危惧（NT）	アマオブネ目	アマオブネ科	イシマキガイ	(DD) ↑
淡 014		タニシ目	タニシ科	オオタニシ	-
淡 015		ドブシジミ目	ドブシジミ科	フクイマメシジミ	新規
淡 016				マメシジミ	-
淡 017				ドブシジミ	(DD) ↑
淡 018	情報不足（DD）	モノアラガイ目	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	-
淡 019				ヒラマキガイモドキ	-
淡 020				カワコザラガイ	-
淡 021		イシガイ目	イシガイ科	カタドブガイ（新称）	新規
淡 022		マルスタレガイ目	シジミ科	マシジミ	(VU) ↓
淡 023				ヤマトシジミ	-
陸 001	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	エゾタマキビ目	イツマデガイ科	ヤママメタニシ	-
陸 002		マイマイ目	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	-
陸 003	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	ヤマタニシ目	ヤマタニシ科	ヤマタニシ	(NT) ↑
陸 004		マイマイ目	キセルガイ科	キヌハダギセル	-
陸 005			ナンバンマイマイ科	オウミケマイマイ	新規
陸 006	準絶滅危惧（NT）	アマオブネ目	ヤマキサゴ科	ヤマキサゴ	-
陸 007		ヤマタニシ目	ヤマタニシ科	サドヤマトガイ	新規
陸 008		エゾタマキビ目	イツマデガイ科	ニクイロシブキツボ	新規
陸 009			カワザンショウガイ科	オオウスイロヘソカドガイ	新規
陸 010		マイマイ目	キセルモドキ科	クリイロキセルガイモドキ	-
陸 011			キセルガイ科	コンボウギセル	新規
陸 012				オオタキコギセル	-
陸 013		ナンバンマイマイ科		ヤマタカマイマイ	-
陸 014		タワラガイ科		タワラガイ	新規
陸 015	情報不足（DD）	エゾタマキビ目	カワザンショウガイ科	ホラアナゴマオカチグサ近似種	(NT) ↓
陸 016				カワザンショウガイ	新規
陸 017		クビキレガイ科		ヤマトクビキレガイ	新規
陸 018		オカミミガイ目	オカミミガイ科	ハマシイノミガイ	-
陸 019		マイマイ目	キセルモドキ科	キセルガイモドキ	-
陸 020			キセルガイ科	オクガタギセル	-
陸 021				ナミコギセル	新規
陸 022		ベッコウマイマイ科	タカキビ		新規
陸 023			ツノイロヒメベッコウ		新規
陸 024			ミドリベッコウ		-
陸 025			ウラジロベッコウ		新規
陸 026			カズマキベッコウ		新規
陸 027		ナメクジ科	ナメクジ		新規

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
陸 028	情報不足 (DD)	マイマイ目	ナンバンマイマイ科	コシタカコベソマイマイ	新規
陸 029				ココロマイマイ	-
陸 030				ケハダビロウドマイマイ	-
陸 031				エチゼンビロウドマイマイ	新規
陸 032				コオオベソマイマイ	新規
陸 033				コガネマイマイ	-

■甲殻類

No.	RL2025 カテゴリー	目名	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	エビ (十脚) 目	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	新規
002				カクベンケイガニ	新規
003	絶滅危惧 II 類 (VU)	エビ (十脚) 目	ベンケイガニ科	アカテガニ	(DD) ↑
004				ニホンタマワラジムシ	新規
005	準絶滅危惧 (NT)	エビ (十脚) 目	テナガエビ科	テナガエビ	新規
006				サワガニ科	(DD) ↑
007		無甲目 (ホウネンエビ目)	ホウネンエビ科	ホウネンエビ	新規
008	情報不足 (DD)	双殻目	カイエビ科	カイエビ	新規
009			ヒメカイエビ科	ヒメカイエビ属の一種	新規
010			タマカイエビ科	タマカイエビ	新規
011		ワラジムシ(等脚) 目	ハマダンゴムシ科	ハマダンゴムシ	新規
012			ウミベワラジムシ科	トヤマウミベワラジムシ	新規
013			シオサイワラジムシ科	ニホンハマワラジムシ	新規
014				ハナビロハマワラジムシ	新規
015			ウシオワラジムシ科	ニッポンヒロワラジムシ	新規
016		エビ (十脚) 目	ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	新規
017				ヌカエビ	新規
018				ヌマエビ	新規

■維管束植物

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅 + 野生絶滅 (EX+EW)	イノモツウ科	タキミシダ	-
002		ウラボシ科	アオネカズラ	-
003			クリハラン	-
004		オモダカ科	マルバオモダカ	-
005		トチカガミ科	マルミスブタ	-
006			イバラモ	-
007		ヒルムシロ科	リュウノヒゲモ	-
008		ラン科	ツリシユスラン	(DD) ↑
009			イワチドリ	-
010			ムカゴソウ	-
011		キジカクシ科	スズラン	-
012		ホシクサ科	クロホシクサ	(DD) ↑
013		イグサ科	イヌイ	-
014		カヤツリグサ科	シオクグ	-
015			クロハリイ	新規

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
016	絶滅+野生絶滅 (EX+EW)	カヤツリグサ科	コツブヌマハリイ	新規
017		イネ科	アワガエリ	-
018		マメ科	タンキリマメ	-
019			センダイハギ	-
020			オオバクサフジ	-
021		スミレ科	アケボノスミレ	(DD) ↑
022		タデ科	コギシギシ	-
023		ナデシコ科	オオヤマフスマ	-
024		サクラソウ科	サワトラノオ	(DD) ↑
025		ツツジ科	アセビ	-
026		キョウチクトウ科	フナバラソウ	-
027			スズサイコ	-
028		ヒルガオ科	マメダオシ	-
029		オオバコ科	オオアブノメ	(DD) ↑
030			ヒシモドキ	-
031		タヌキモ科	フサタヌキモ	(DD) ↑
032		キキョウ科	ヒナギキョウ	-
033		キク科	ハマベノギク	-
034		セリ科	ミシマサイコ	-
035	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	ヒカゲノカズラ科	ヤチスギラン	新規
036		ミズニラ科	ミズニラ	(VU) ↑
037		ハナヤスリ科	ミヤマハナワラビ	(DD) ↑
038		サンショウモ科	サンショウモ	-
039		チャセンシダ科	ヤマドリトラノオ	(DD) ↑
040		ウラボシ科	クラガリシダ	新規
041			ビロードシダ	-
042		ヒノキ科	ハイネズ	-
043		スイレン科	オニバス	-
044			サイコクヒメコウホネ	-
045		サトイモ科	マイヅルテンナンショウ	-
046			ヒメカイウ	-
047		オモダカ科	サジオモダカ	-
048		トチカガミ科	セトヤナギスブタ	-
049			トチカガミ	-
050			トリゲモ	-
051			オオトリゲモ	-
052		ヒルムシロ科	ヒロハノエビモ	(DD) ↑
053		ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	新規
054		ラン科	ムギラン	-
055			ナツエビネ	-
056			モイワラン	-
057			コアツモリソウ	-
058			アツモリソウ	(DD) ↑
059			サワラン	-
060			カモメラン	-
061			シロテンマ	(DD) ↑
062			ベニシュスラン	-
063			サギソウ	-

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
064	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	ラン科	ミズトンボ	-
065			ヒナチドリ	-
066			コアニチドリ	-
067			エンシュウムヨウラン	新規
068			スズムシソウ	-
069			ホザキイチヨウラン	-
070			ミズチドリ	-
071			イイヌマムカゴ	-
072			ヤマトキソウ	-
073			カヤラン	新規
074			キバナノショウキラン	(DD) ↑
075		アヤメ科	ヒオウギ	-
076		キジカクシ科	コヤブラン	(DD) ↑
077		イグサ科	エゾイトイ	(DD) ↑
078			タカネイ	(DD) ↑
079		カヤツリグサ科	イトテンツキ	(EX+EW) ↓
080			タカネシバスゲ	(VU) ↑
081			オニスゲ	-
082			スジヌマハリイ	-
083			オオアゼテンツキ	-
084			ビロードテンツキ	-
085			イトイヌノハナヒゲ	-
086			ハタベカンガレイ	-
087			シズイ	-
088			マネキシンジュガヤ	(DD) ↑
089		イネ科	ヌマカゼクサ	-
090			ヒゲナガコメスキ	(DD) ↑
091		メギ科	トガクシソウ	(DD) ↑
092		キンポウゲ科	ハンショウヅル	新規
093			カザグルマ	新規
094			オキナグサ	-
095			タカネキンポウゲ	-
096			ノカラマツ	(DD) ↑
097			キンバイソウ	新規
098		ボタン科	ヤマシャクヤク	-
099			ベニバナヤマシャクヤク	-
100		ユキノシタ科	マルバネコメソウ	新規
101		ベンケイソウ科	アオベンケイ	-
102		アリノトウグサ科	タチモ	-
103		マメ科	モメンヅル	(VU) ↑
104			タヌキマメ	-
105			イタチササゲ	(DD) ↑
106			ヒロハクサフジ	(DD) ↑
107		ヒメハギ科	ヒナノカンザシ	-
108		オトギリソウ科	トモエソウ	-
109			アゼオトギリ	(DD) ↑
110		スマレ科	イソスマレ	-
111			アナスマレ	-

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
112	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	トウダイグサ科	ノウルシ	-
113			トウダイグサ	(NT) ↑
114		ミソハギ科	ミズキカシグサ	-
115			ヒメビシ	-
116		オオバヤドリギ科	ホザキヤドリギ	(DD) ↑
117		タデ科	クリンユキフデ	-
118			ヒメタデ	-
119			ヤナギヌカボ	-
120		モウセンゴケ科	トウカイコモウセンゴケ	-
121		ナデシコ科	カンチャヤチハコベ	(DD) ↑
122		ヒュ科	ハマアカザ	-
123		サクラソウ科	クサレダマ	-
124		ツツジ科	エゾイチヤクソウ	新規
125			シャシャンボ	(EX+EW) ↓
126		キヨウチクトウ科	チヨウジソウ	(EX+EW) ↓
127			ツルガシワ	(VU) ↑
128		オオバコ科	ビロードトラノオ	(DD) ↑
129		タヌキモ科	ノタヌキモ	-
130			ミミカキグサ	-
131			ホザキノミミカキグサ	-
132			ムラサキミミカキグサ	-
133		シリ科	ミズネコノオ	-
134			ミヅコウジュ	-
135			ティネニガクサ	新規
136			カリガネソウ	新規
137		ハマウツボ科	オニク	(DD) ↑
138		キキョウ科	キキョウ	-
139		ミツガシワ科	ガガブタ	-
140			アサザ	-
141		キク科	オゼミズギク	-
142			ミヤコアザミ	-
143		セリ科	ホタルサイコ	-
144	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	-
145		ゼンマイ科	ヤシャゼンマイ	-
146		コケシノブ科	ウチワゴケ	-
147		サンショウモ科	オオアカウキクサ	-
148		コバノイシカグマ科	オオフジシダ	-
149		イノモトソウ科	ハコネシダ	-
150		ナヨシダ科	ヤマヒメワラビ	-
151		イワヤシダ科	イワヤシダ	(DD) ↑
152		メシダ科	サキモリイヌワラビ	-
153			ミヤマノコギリシダ	-
154		ウラボシ科	ヒメノキシノブ	新規
155			イワオモダカ	(DD) ↑
156		スイレン科	ヒツジグサ	-
157		ドクダミ科	ハンゲショウ	-
158		ウマノスズクサ科	マルバウマノスズクサ	(DD) ↑
159		オモダカ科	アギナシ	-

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012からの変動
160	絶滅危惧 II 類 (VU)	トチカガミ科	ヤマトウミヒルモ	新規
161			クロモ (二倍体)	-
162		ヒルムシロ科	イトモ	-
163			センニンモ	(DD) ↑
164		ユリ科	アマナ	(NT) ↑
165		ラン科	キンセイラン	(CR+EN) ↓
166			キンラン	-
167			ユウシュンラン	-
168			クマガイソウ	-
169			アオチドリ	-
170			イチョウラン	-
171			タカネイチヨウラン	新規
172			キリガミネアサヒラン	-
173			エゾスズラン	-
174			ヒメミヤマウズラ	-
175			ミヤマモジズリ	-
176			ウチョウラン	-
177			ニヨホウチドリ	-
178			ホクリクムヨウラン	-
179			ムヨウラン	-
180			ギボウシラン	-
181			フガクスズムシソウ	新規
182			アキタスズムシソウ	新規
183			セイタカスズムシソウ	-
184			アオフタバラン	-
185			アリドオシラン	-
186			ハクウンラン	新規
187			タカネトンボ	-
188			ジンバイソウ	(NT) ↑
189			ツレサギソウ	-
190			タカネサギソウ	-
191			トキソウ	-
192			ヒトツボクロ	-
193		アヤメ科	カキツバタ	-
194		ガマ科	ヤマトミクリ	-
195		カヤツリグサ科	ミコシガヤ	-
196			カラフトイワスゲ	-
197			オノエスゲ	-
198			モエギスゲ	(NT) ↑
199			ヌイオスゲ	-
200			コアゼテンツキ	-
201			アオテンツキ	-
202			ロッカクイ	新規
203			フトイ	-
204			コシンジュガヤ	-
205		イネ科	オガルカヤ	-
206			ウキガヤ	-
207			テンキグサ	-

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012からの変動
208	絶滅危惧 II 類 (VU)	イネ科	タカネタチイチゴツナギ メガルカヤ	- (DD) ↑
209		マツモ科	マツモ	-
210		ケシ科	ナガミノツルケマン	-
211		キンポウゲ科	フクジュソウ クモキンポウゲ	(CR+EN) ↓ (DD) ↑
212			マンセンカラマツ	-
213			シキンカラマツ	(DD) ↑
214		スグリ科	ザリコミ	新規
215		ユキノシタ科	タテヤマイワブキ ムカゴユキノシタ	- -
216		ベンケイソウ科	エッチュウミセバヤ	-
217		マメ科	イヌハギ	-
218		バラ科	チヨウセンキンミズヒキ ミツモトソウ	新規 (DD) ↑
219			ハマナス	-
220			サナギイチゴ	-
221		クロウメモドキ科	ヨコグラノキ	(DD) ↑
222		イラクサ科	ニオウヤブマオ	-
223		スマレ科	ヒゴスマレ	(DD) ↑
224			エイザンスマレ	-
225			マルバスミレ	-
226			アカネスマレ	(DD) ↑
227			ヒカゲスマレ	-
228		アカバナ科	ムクゲアカバナ	-
229		アブラナ科	タチスズシロソウ ミズタガラシ	- -
230			クモマナヅナ	-
231		ツチトリモチ科	ミヤマツチトリモチ	-
232		オオバヤドリギ科	マツグミ	(CR+EN) ↓
233		タデ科	ヌカボタデ マダイオウ	- -
234		ハナシノブ科	ミヤマハナシノブ	-
235		サクラソウ科	ハイハマボッス	-
236		ツツジ科	マルバノイチヤクソウ	-
237		リンドウ科	オノエリンドウ イヌセンブリ	- -
238		ムラサキ科	スナビキソウ	-
239			ホタルカズラ	(NT) ↑
240		オオバコ科	アブノメ シソクサ	- -
241			エチゴトラノオ	-
242			イヌノフグリ	-
243			カワヂシャ	-
244		ゴマノハグサ科	エゾヒナノウスツボ	-
245		アゼナ科	ヒロハスズメトウガラシ	(CR+EN) ↓
246		シリ科	キセワタ	-
247			ミズトラノオ	-
248				
249				
250				
251				
252				
253				
254				
255				

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012からの変動
256	絶滅危惧 II 類 (VU)	シソ科	ヒメナミキ	-
257		オオバコ科	スズメノハコベ	-
258		ハマウツボ科	ハマウツボ	(DD) ↑
259			キヨスミウツボ	-
260		キキョウ科	サワギキョウ	-
261		キク科	シマカンギク (六倍体)	(DD) ↑
262			オオイワインチン	-
263			ヒダキセルアザミ	-
264			ヒダアザミ	-
265			タカサブロウ	新規
266			オグルマ	-
267			ノニガナ	-
268			アキノハハコグサ	-
269			オナモミ	(DD) ↑
270		レンプクソウ科	レンプクソウ	(CR+EN) ↓
271		スイカズラ科	ナベナ	-
272			クロミノウグイスカグラ	-
273			ダイセンヒヨウタンボク	新規
274			アラゲヒヨウタンボク	新規
275			オミナエシ	-
276		セリ科	ハマウド	-
277	準絶滅危惧 (NT)	ヒカゲノカズラ科	スギラン	-
278		ハナヤスリ科	ヒメハナワラビ	-
279			コヒロハハナヤスリ	-
280			ヒロハハナヤスリ	-
281		ナヨシダ科	ナヨシダ	-
282		チャセンシダ科	イチョウシダ	-
283		ヒメシダ科	タチヒメワラビ	-
284		イワデンダ科	トガクシデンダ	(DD) ↑
285		メシダ科	テバコワラビ	-
286		オシダ科	シロウマイタチシダ	-
287		ジュンサイ科	ジュンサイ	-
288		ウマノスズクサ科	ミヤマアオイ	(DD) ↑
289		サトイモ科	スズカマムシグサ	新規
290			ナベクラザゼンソウ	(DD) ↑
291			ヒメザゼンソウ	-
292		チシマゼキショウ科	ハナゼキショウ	-
293		トチカガミ科	スブタ	-
294			ヤナギスブタ	-
295			イトトリゲモ	(VU) ↓
296			ホップスモ	-
297			ミズオオバコ	-
298			セキショウモ	-
299		アマモ科	コアマモ	新規
300			アマモ	新規
301		シユロソウ科	ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソウ)	-
302		サルトリイバラ科	マルバサンキライ	-
303		ヨリ科	ヤマジノホトトギス	-

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012からの変動
304	準絶滅危惧 (NT)	ラン科	エビネ	-
305			サルメンエビネ	(VU) ↓
306			ギンラン	-
307			カキラン	-
308			クロヤツシロラン	(VU) ↓
309			ジガバチソウ	(VU) ↓
310			シテンクモキリ	(VU) ↓
311			ミヤマフタバラン	-
312			タカネフタバラン	-
313			シロウマチドリ	-
314			ヤマサギソウ	-
315			オオヤマサギソウ	-
316			ミヤマトキソウ	新規
317		アヤメ科	ノハナショウブ	-
318			ヒメシャガ	-
319		ワスレグサ科	ノカンゾウ	-
320		ミズアオイ科	ミズアオイ	-
321		ガマ科	エゾミクリ	(DD) ↑
322			タマミクリ	-
323			ヒメミクリ	(VU) ↓
324		イグサ科	ドロイ	(DD) ↑
325			エゾノミクリゼキショウ	(DD) ↑
326		カヤツリグサ科	イトハナビテンツキ	-
327			クロボスゲ	-
328			チャシバスゲ	-
329			ホスゲ	-
330			ヒロハノオオタマツリスゲ	-
331			タカネヤガミスゲ	-
332			ダケスゲ	-
333			ヒゲハリスゲ	-
334			オタルスゲ	-
335			タカネナルコ	-
336			ヒメモエギスゲ	(VU) ↓
337			ノテンツキ	-
338			タカネクロスゲ	-
339		イネ科	ハネガヤ	-
340			ユキクラヌカボ	(DD) ↑
341			フサガヤ	-
342			ヒナザサ	(DD) ↑
343			ヤマオオウシノケグサ	-
344			タカネソモモ	-
345			ヒロハノドジョウツナギ	-
346			ハイチゴザサ	-
347			カモノハシ	-
348			タツノヒゲ	-
349			イトイチゴツナギ	-
350			ミヤマカニツリ	(DD) ↑
351			チシマカニツリ	(DD) ↑

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012からの変動
352	準絶滅危惧 (NT)	イネ科	リシリカニツリ	(VU) ↓
353			スナシバ	-
354		キンポウゲ科	アズマレイジンソウ	-
355			アズマイチゲ	-
356			シラネアオイ	-
357			ミスミソウ	-
358			ツクモグサ	-
359			イブキキンポウゲ	-
360		スグリ科	ヤシャビシャク	-
361		ベンケイソウ科	ツメレンゲ	-
362		タコノアシ科	タコノアシ	-
363		アリトウグサ科	フサモ	(DD) ↑
364		マメ科	リシリオウギ	-
365		ヒメハギ科	ヒメハギ	新規
366		バラ科	ハゴロモグサ	-
367			イワキンバイ	-
368			ウラジロキンバイ	-
369		イラクサ科	コミヤマミズ	-
370		ニシキギ科	イワウメヅル	-
371		スマレ科	ウスバスミレ	(DD) ↑
372		ヤナギ科	コマイワヤナギ	新規
373		トウダイグサ科	ニシキソウ	-
374		フウロソウ科	ミツバフウロ	-
375		ミソハギ科	ミズマツバ	-
376		アカバナ科	ホソバアカバナ	(DD) ↑
377		ムクロジ科	カジカエデ	-
378			カラコギカエデ	-
379		ジンチョウゲ科	ナニワズ	(DD) ↑
380		アブラナ科	クモイナズナ	-
381			シロウマナズナ	-
382			オオユリワサビ	-
383		タデ科	オオツルイタドリ	-
384			ホソバノウナギソカミ	-
385		ナデシコ科	ホソバミニナグサ (タカネミニナグサ)	-
386			ハマナデシコ	(DD) ↑
387			フシグロセンノウ	-
388			チシマツメクサ	-
389			シコタンハコベ	-
390		サクラソウ科	ギンレイカ	(DD) ↑
391		ツツジ科	ヒメシャクナゲ	-
392			サラサドウダン	(VU) ↓
393			シャクジョウソウ	-
394			サツキ	-
395			レンゲツツジ	-
396			バイカツツジ	新規
397			チョウジコメツツジ	(DD) ↑
398		リンドウ科	シロウマリンドウ	-
399			ハナイカリ	(VU) ↓

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
400	準絶滅危惧 (NT)	リンドウ科	ホソバノツルリンドウ	-
401		キョウチクトウ科	コイケマ	新規
402		ナス科	マルバノホロシ	-
403			オオマルバノホロシ	-
404		オオバコ科	マルバノサワトウガラシ	-
405		ゴマノハグサ科	ヒナノウツボ	-
406		タヌキモ科	イヌタヌキモ	-
407		シソ科	メハジキ	-
408			コバノタツナミ	-
409			デワノタツナミソウ	-
410			ナミキソウ	(CR+EN) ↓
411		ハマウツボ科	オニシオガマ	-
412		キク科	アサギリソウ	-
413			シュウブンソウ	(DD) ↑
414			オケラ	-
415			ホソバムカシヨモギ	-
416			ヤナギタンポポ	-
417			オオニガナ	-
418			ヤブレガサ	-
419			タカネコウリンカ	-
420			サワオグルマ	-
421		レンブクソウ科	オトコヨウツメ	-
422		スイカズラ科	コウグイスカグラ	-
423		セリ科	ヒュウガセンキュウ	新規
424			ツボクサ	新規
425			ドクゼリ	(VU) ↓
426			ハマゼリ	-
427			ムカゴニンジン	-
428	情報不足 (DD)	ユリ科	ヒメサユリ	-
429			ホトトギス	-
430		ラン科	ヒメムヨウラン	-
431			カヤツリグサ科	-
432		イネ科	シロガヤツリ	-
433			オオタチカラモジ	-
434		マンサク科	タチネズミガヤ	-
435			マルバノキ	-
436		バラ科	シロバナノヘビイチゴ	-
437			ツクバネガシ	(NT) ↓
438		ツツジ科	イワナンテン	-
439			アカネ科	-
440		タヌキモ科	ミヤマムグラ	-
			タヌキモ	-
		キク科	イワインチン	-

■蘚苔類

No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
001	絶滅 + 野生絶滅 (EX+EW)	クジヤクゴケ科	コキジオゴケ	(CR+EN) ↑
002		カワゴケ科	クロカワゴケ	(CR+EN) ↑
003	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	ナンジャモンジャゴケ科	ナンジャモンジャゴケ	(DD) ↑
004		キヌシッポゴケ科	オリンピックゴケ	-

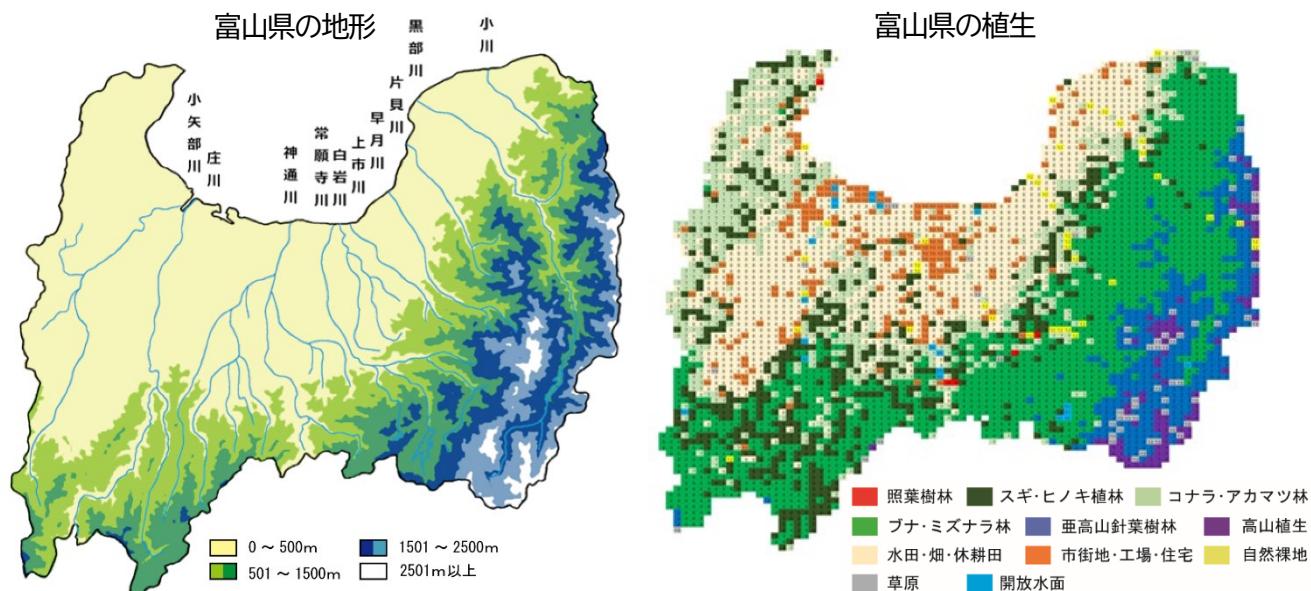
No.	RL2025 カテゴリー	科名	種名	RL2012 からの変動
005	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	シッポゴケ科	チャボナガダイゴケ	(DD) ↑
006		カサゴケ科	ツブツブヘチマゴケ	(DD) ↑
007		カワゴケ科	カワゴケ	(NT) ↑
008		ヌマシノブゴケ科	カラフトシノブゴケ	(VU) ↑
009		ハイヒモゴケ科	イトゴケ	-
010		ハイゴケ科	コウライイチイゴケ	(DD) ↑
011		サンダゴケ科	オオサンダゴケ	(DD) ↑
012		ヒゲゴケ科	レイシゴケ	(DD) ↑
013		コマチゴケ科	キレハコマチゴケ	-
014		ミゾゴケ科	エゾヒメソロイゴケ	(DD) ↑
015		サトミヨツデゴケ科	サトミヨツデゴケ	(DD) ↑
016		クサリゴケ科	サワクサリゴケ	新規
017		イシヅチゴケ科	イシヅチゴケ	-
018		キヌシッポゴケ科	キヌシッポゴケモドキ	-
019		カワゴケ科	コシノヤバネゴケ	-
020		イワタレゴケ科	ヒヨクゴケ	-
021		チヂレヤハズゴケ科	チヂレヤハズゴケ	-
022		ヤマトヤハズゴケ科	ヤマトヤハズゴケ	-
023		アミバゴケ科	ミツデモミジゴケ	(DD) ↑
024		ヤバネゴケ科	シロヤバネゴケ	新規
025		ミゾゴケ科	ヤケミゾゴケ	新規
026			シロウマミゾゴケ	新規
027		キノボリツノゴケ科	アナナシツノゴケ	新規
028	準絶滅危惧 (NT)	クロゴケ科	ガッサンクロゴケ	-
029		ヒカリゴケ科	ヒカリゴケ	-
030		ウキゴケ科	イチョウウキゴケ	-
031	情報不足 (DD)	ハウオウゴケ科	ジョウレンハウオウゴケ	-
032		ハリガネゴケ科	ヤスダゴケ	-
033		チョウチンゴケ科	コシノシンジゴケ	-
034		アミバゴケ科	タチクモマゴケ	-
035		コヤバネゴケ科	マルバイチョウゴケ	-
036		ミゾゴケ科	アカサキジロゴケ	新規
037			ヒラウロコゴケ	-
038		キリシマゴケ科	キリシマゴケ	新規

5 富山県の自然概況



(1) 富山県の地形や植生、河川

日本列島のほぼ中央に位置する富山県は、標高 3,000m級の北アルプス立山連峰から水深 1,000m の富山湾まで高低差 4,000m のダイナミックで変化に富んだ地形を有しており、多くの河川も流れている。このことが多様な植生や環境を創出し、多様な生態系の基盤となっている。

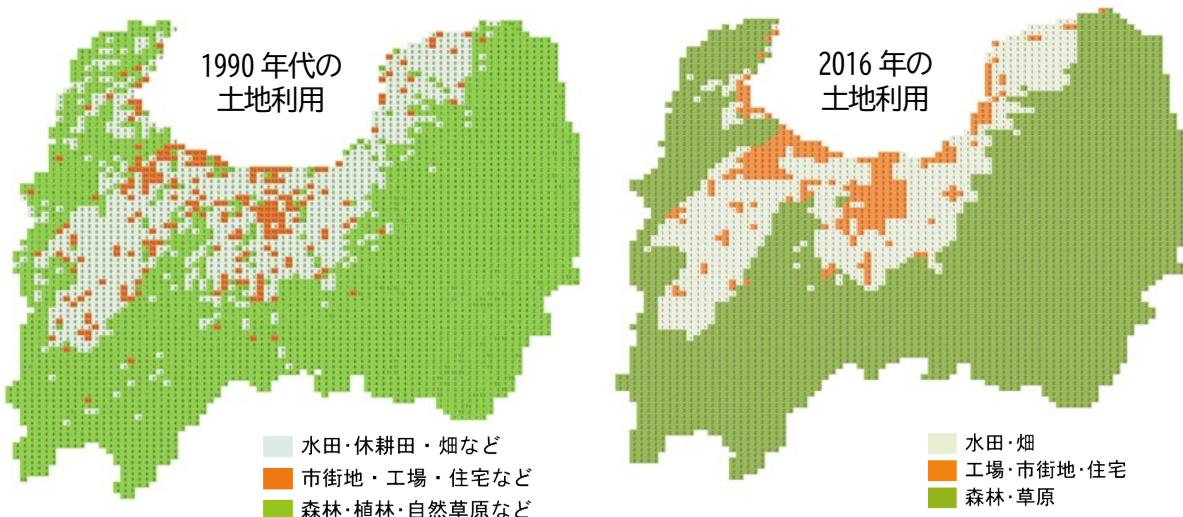


第5回基礎調査（1992-1996年） 植生3次メッシュデータより改編作成

(2) 富山県の抱える生物多様性の4つの危機

① 開発など人間活動による危機

ダム建設や道路整備、沿岸域の埋立て、農用地の他用途への転用など、人間活動に伴う生物多様性の変化は、全ての生態系に及んでいる。

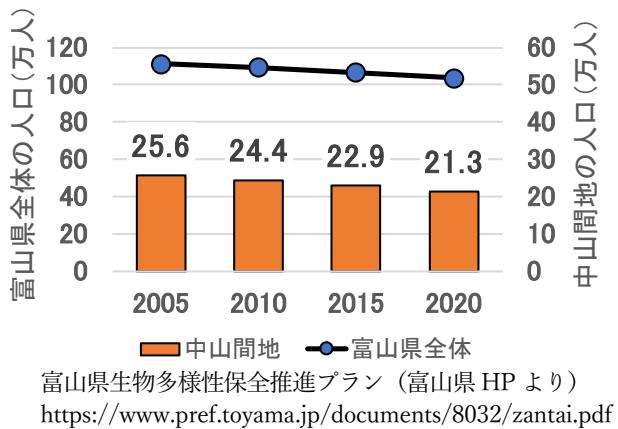


第5回基礎調査（1992-1996年）
植生3次メッシュデータより改編作成

国土交通省（2016年） 国土数値情報より改編作成

②自然に対する働きかけの縮小による危機

里地里山の生産活動を支えている中山間地域の人口の減少は集落機能低下の要因となり、生物多様性の面から見ると里地里山に人の手が入らず荒れることで独自の生態系に影響を及ぼしている。

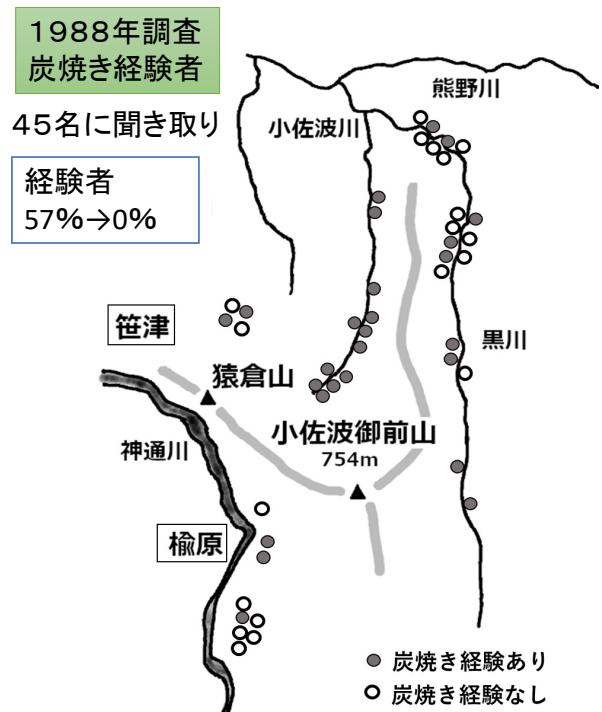


急速な人口減少と少子高齢化

	県全体	中山間地域
2015～2045年の人口減少率	23%	39%
2045年の高齢化率	40%	46%

中山間地の現状（富山県 HP より）

<https://www.pref.toyama.jp/documents/33569/4.pdf>



③人間により持ち込まれたものによる危機

環境省が選定している特定外来生物のうち、県内においてアライグマやウシガエル、ブルーギル、オオキンケイギク、アレチウリ、オオカワデシヤなどが確認されています。これらの外来種は、県内でもその生息域を広げており、在来種を駆逐し、生態系へ影響を及ぼしている。

また、人間により持ち込まれた生物ではないものの、ニホンジカやイノシシも増加してきており、食害による希少な植物や動物への影響も懸念される。



ウシガエル（特定外来生物）



アカミミガメ（条件付き特定外来生物）



オオキンケイギク（特定外来生物）

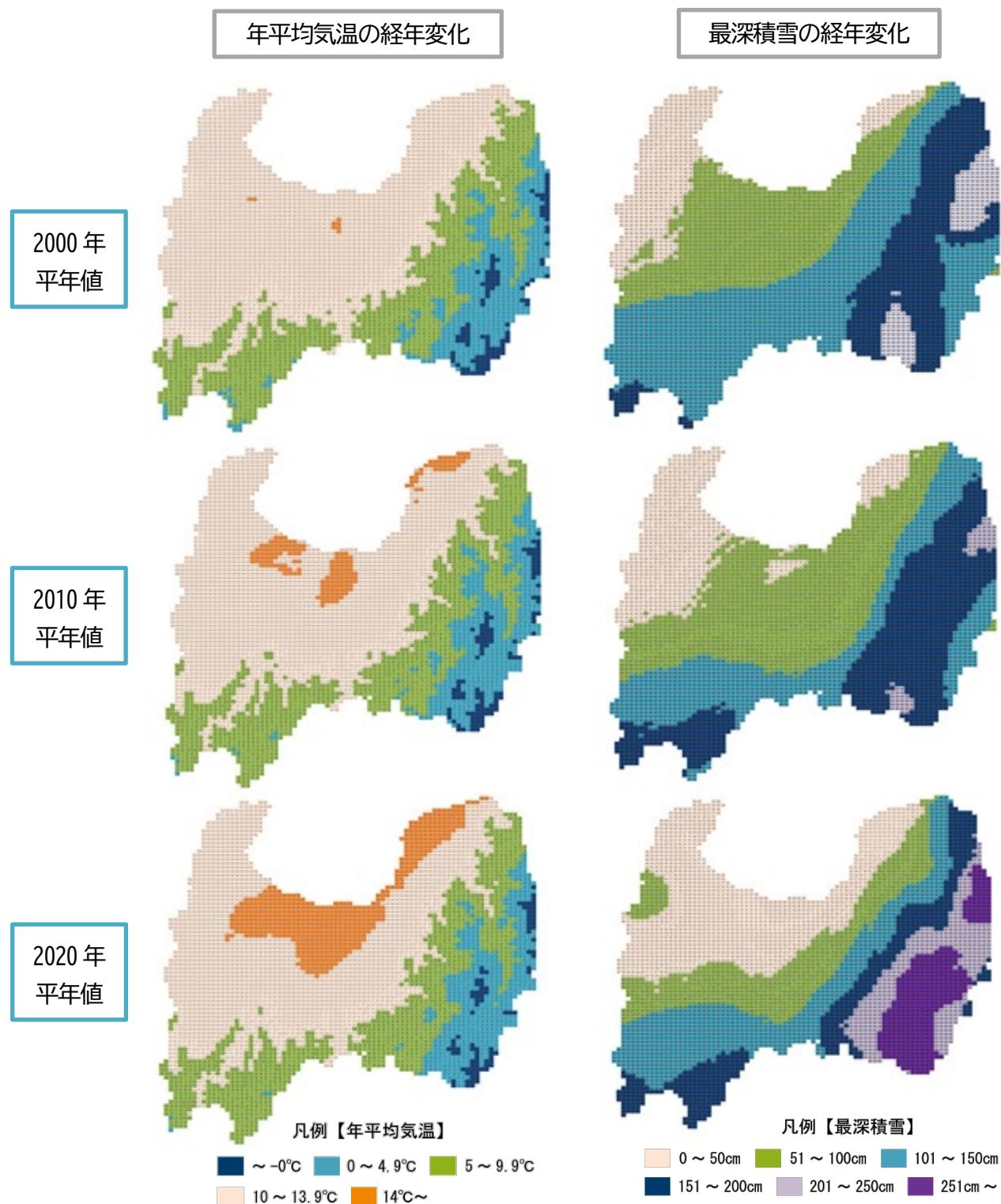


ニホンジカ（立山町）

④ 地球環境の変化による危機

富山県においても、地球温暖化によると考えられる気候や生態系の変化が現れている。気象観測データでみると、本県における年平均気温は上昇傾向にあり、高岡伏木では 100 年あたり 1.1°C の割合で上昇している。

急激な気候変動に伴う気温上昇や積雪の減少は、動植物への悪影響が懸念され、特に平野部から丘陵地の生物の動向には留意が必要と考えられる。



いずれも気象庁メッシュ気候値 (2000, 2010, 2020) より作成

(文責：佐藤 卓)